

理事長挨拶



社団法人 大正琴協会理事長
海部俊樹

新年明けましておめでとうございます。

会員、愛好者の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと存じ、心からお慶び申し上げます。

日頃は社団法人 大正琴協会の会務運営に格別なご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

2008年を振り返り1年の世相や出来事を漢字一字で「変」と京都・清水寺貫主は揮毫されました。昨年はグローバル化が進む中、アメリカのサブプライムローンに始まり、实体经济の4倍とも言われたマネー投機が主流になっていたことから、其れがはじけて世界的不況に突入しております。この現象は、残念ながら100年に1回あるかないかの瀕死経済状態であります。15年前のわが国においてバルブがはじけた状態とは一変しており、一刻も早く経済の建て直しが急がれているところでございます。

ところで嬉しいお話もありました、それは日本人のノーベル賞受賞です。3人もの日本人が受賞したのであります。いずれも物理学という分野においての受賞であります。本当に誇りに思うところでございます。

その中の一人、小林誠さんは私のいとこに当たります、彼は子供の頃（2歳）に父を亡くし、私の実家へ来て10年余り暮らしたことがあります。私より年下でありましたので、マー坊と呼んで可愛がりました。いつも黙ってニコニコし、母を気使い、今に思えばおとなしく、難しい本を読んでいた、この原動力が今回のノーベル賞に輝いたと思っております。

大正琴も誕生してあと2年余りで100年を迎えます、先人が築いたこの楽器を次の世代に伝承すべく、多くの事業を実施してゆくのが協会活動であります。

皆様のお力添えを今年もどうか宜しくお願い申し上げます。

最後に、会員皆さまの益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

第32回通常総会議事録

1. 日 時 平成20年12月3日(水)
開会 午後1時00分
閉会 午後2時00分

2. 場 所 大阪市淀川区西宮原一丁目3番35号
大阪ガーデンパレス

3. 出席状況 会員の総数 4,445名
出席会員数 3,369名(委任状含む)

4. 議事の概要

(1)開会

定刻に、司会者の岩間昌一理事が挨拶。
北林豊理事が、開会を宣言。

(2)議長選出

司会者が、議長選出方法を議場に諮ったところ司会者一任の声あり。よって、加藤英也副理事長を本総会の議長としたい旨諮ったところ、全員一致をもって選出し、同副理事長は、これを了承議長となり、挨拶をした。議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、正会員現在数の2分の1以上の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。

(3)議事録署名人選出

議長が、議事に先立ち議事録署名人2名の選出について諮ったところ、議長一任の発言があり、全員異議なく賛成したので、議長は、岩間昌一理事及び吉崎裕幸理事を指名し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

5. 議 事

第1号議案 平成20年度

収支予算執行状況報告に関する件

議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。

同事務局長は、予め配布した資料をもとに収支予算執行状況(平成20年4月1日から同年9月30日まで)について詳しく報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、本件を了した。

第2号議案 平成20年度

収支補正予算案承認に関する件

議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。

同事務局長は、予め配付した資料をもとに平成20年度収支補正予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

第3号議案 平成21年度

事業計画案承認に関する件

議長が、事業委員長横幕睦理事に本件議案の説明を求めた。

同理事は、予め配布した資料をもとに平成21年度事業計画案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

第4号議案 平成21年度

収支予算案承認に関する件

議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。

同事務局長は、予め配布した資料をもとに平成21年度収支予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

6. 閉会

以上をもって、社団法人大正琴協会第32回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、北林豊理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

平成20年12月3日

社団法人大正琴協会 通常総会

議 長 加藤 英 也 印

議事録署名人 岩 間 昌 一 印

同 吉 崎 裕 幸 印



平成21年度事業計画(主要事業)

1. 生涯学習に関する普及・啓発活動

- (1) 第21回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会 (中央事業)
 - ・日 時 平成21年10月31日(土)の1日間
 - ・場 所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目7番地5 大宮ソニックホール
 - ・趣 旨 人々の生涯学習に対する意欲を高めるとともに、人々の学習への参加を促進することを目的として開催される。
当協会としては、全国生涯学習フェスティバルに参加し、会員、大正琴愛好者に対してフェスティバルへの来場の呼びかけを行います。
- (2) 小中高等学校に対して大正琴を寄贈して、講師を派遣する事業。
- (3) 全国子ども大正琴コンクール
 - ・日 時 平成21年8月23日(水)予定
 - ・対 象 全国の児童・青少年
 - ・趣 旨 子ども達に目標を持って大正琴に接する機会を増やし、大正琴の魅力を体感させ、今後一層大正琴人口の裾野を広げ、大正琴文化を次世代に継承する。

2. 生涯学習に関する各種講座・講習会

- (1) 協会主催の講演会を開催します。
- (2) 地域における各種講座、講演会の開催・生涯学習機会への提供等援助。
(地方助成費)

3. 演奏会・指導者研修会

- (1) 第21回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会(埼玉県)
- (2) 100年記念準備事業
- (3) 地域における大正琴演奏会開催への援助
- (4) 指導者研修会の開催(香川県高松市を予定)

4. 調査研究事業

初期の大正琴の調査研究
趣旨

- (1) 大正琴が誕生してあと2年で100年に成ります、大正時代に誕生した大正琴はまだまだ全国に埋もれていると思われる、初期の頃の貴重な楽器の所在を把握して映像等で保管することが、歴史においても大切であり、大正琴文化、伝承事業の一つになる。
- (2) 大正時代に出来た大正琴を保存することは、大正琴文化の価値の創造になる。

方法

- (1) 全国の博物館・資料館を対象に調査する。
- (2) 会員にアンケート用紙を配布し情報の提供を求める。
- (3) 会員から寄せられた情報を基に調査を行う。

5. 出版物の刊行

- (1) 機関誌「協会たより」
- (2) ホームページの開設



平成21年度収支予算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

(1)基本財産運用収入	100,000円
(2)入会金収入	250,000円
(3)会費収入	28,700,000円
(4)事業収入	
①生涯学習フェスティバル	425,000円
②国民文化祭	0円
③全国こども大正琴コンクール	400,000円
(5)補助金収入	
日本財団助成金収入	4,700,000円
(6)雑収入	300,000円
事業活動収入合計	34,875,000円

2. 事業活動支出

(1)事業費支出

①全国生涯学習フェスティバル支出	8,000,000円
②地域生涯学習イベント助成費支出	200,000円
③全国子ども大正琴コンクール	2,000,000円
④大正琴普及事業支出	4,200,000円
⑤普及功勞者表彰事業支出	700,000円
⑥協会主催講座・講演会支出	400,000円
⑦地域講座等助成費支出	200,000円
⑧100年記念準備事業支出	300,000円
⑨指導者研修会支出	400,000円
⑩調査研究事業支出	300,000円
⑪機関誌発行・ホームページ支出	600,000円
⑫租税公課支出	50,000円
事業費支出合計	17,350,000円

(2)管理費支出

管理費支出計	16,427,000円
事業活動支出計	33,777,000円

II 予備費支出

当期支出合計	34,077,000円
当期収支差額	798,000円
前期繰越収支差額	10,669,375円
次期繰越収支差額	11,467,375円

第20回全国生涯学習フェスティバル(福島県)

平成20年10月13日(月・祝)、福島県文化センター大ホールにおいて、第20回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会を盛大に開催することができました。

地元福島県内を中心に、約1500名の出演者による素晴らしい演奏が繰り広げられました。中でも、普及事業として進めております、子ども達の演奏は、大人顔負けの可愛い演奏でした。

また、郡山市ピックパレットふくしまにて10月11日(土)から15(水)迄開催されました見本市でも、多くの皆さんに大正琴体験をして頂きました。

最後に、第20回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会が、事故も無く、盛大に開催できました事、出演者の皆様、開催関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

第20回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

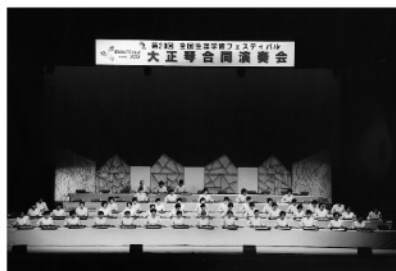
実行委員長 岩間 昌一



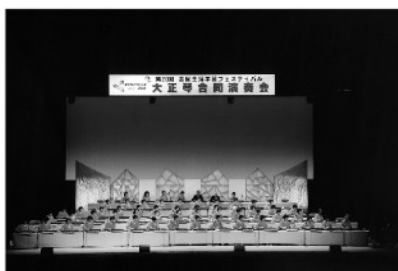
演奏風景



琴修会



琴城流



琴生流



琴伝流

第23回国民文化祭・いばらき2008「大正琴の祭典」

茨城県のひたちなか市文化会館において平成20年11月8日(土)・9日(日)の2日間、文化庁や茨城県等とともに社団法人大正琴協会が主催者となって第23回国民文化祭・いばらき2008「大正琴の祭典」が開催されました。

この国民文化祭は全国持ち回りで開催される合唱や演劇といった芸術文化の総合祭典で、「大正琴の祭典」が開催されるのは一昨年の山口県での開催以来となります。

初日は関東圏を中心に56グループ、2日目は北海道から沖縄まで全国から31グループが出演し、演奏者総数は2,494名、入場者数は1,006名を数え、過去の演奏会の記録を大幅に上回ったほか、期間中に開催された事業のなかでもトップクラスの参加人数となりました。

第23回国民文化祭・いばらき2008「大正琴の祭典」

実行委員長 北林 豊



琴修会



琴城流



琴生流



琴伝流

講演会の開催

テーマ「悪質商法の被害にあわないために」

講師 大阪市消費者センターくらしのナビゲーター 月山一夫様

平成20年12月3日大阪ガーデンパレスにおいて、第32回通常総会後、中央事業の一つとして開催しました。私たちの身の周りには、色々な社会問題が発生しております、特に高齢者を狙った詐欺は、今、大きな社会問題の一つであります。被害者にならないためにはどのようなことに気をつけ防衛すればいいのでしょうか。

悪質商法の手口を列記します。

1. SF(催眠)商法ー「日用品をタダであげる」と呼び止め会場へ誘い込む。
2. 点検商法ー屋根や床下など無料又は低価格で訪問し不安をあおる。
3. 内職・モニター商法ー自宅で高収入と広告や電話で勧誘し高額商品を買せる。
4. 架空請求・不当請求ーEメールや携帯電話によるアダルトサイトや出会い系サイトの利用料を請求する。
5. 送りつけ商法ー書籍・新聞・ビデオテープなど一方的に送り料金を請求する。
6. かたり・実験商法ー水道局から来たとか言って高額な浄水器を売りつける。
7. IT関連のトラブルーインターネットショッピングで代金を払ったのに商品が届かない・偽物だったので相手に電話しても連絡がつかない。

被害にあわないためには「相手の会社名や訪問の目的を確認すること」「いらぬときはキッパリ断ること」「迷ったときには、その場で契約せず家族などに相談すること」「口約束でも契約は成立するので、あいまいな返事はしないこと」「契約を急がせる業者には注意すること」「よく契約書を確認すること」「訪問販売の場合、契約してもいらないければクーリング・オフ制度を活用すること」「おかしいな」と思ったら、「すぐに消費者センターに相談すること」です。

調査研究書の紹介

「児童・青少年の視点から見た大正琴」

平成18年度から20年度事業として実施してきました調査研究書をこのたび刊行いたしました。この調査には全国の小中学校の皆さんがご協力頂き完成しましたこと心からお礼申し上げます。主な内容の紹介

調査にご協力いただきました年代として、18歳以下を対象に調査数は1318名に及びました。調査の内容は次の通りでした。

- 大正琴という楽器を知っていますか。
- どこで知りましたか。
- 大正琴を知った経緯。
- 今までに大正琴を弾いたことがありますか。
- どこで弾きましたか。
- どのような曲を弾いてみたいと思いますか。
- 大正琴に対してどのようなイメージを持っていますか等設問形式で行いました。

今回の調査対象は、北は北海道から南は沖縄県にまたがりました。回答者の構成は男423人(32.1%)女875人66.4パーセントの回答率でした。大正琴を知ったのは、学校が794人中298人39.8パーセント、次に家族、知り合いが168人22.4パーセント、三番目にメディアが134人17.9パーセントでした。

演奏経験では、経験したことがあるでは、1318人中441人33.5パーセントでした。大正琴を演奏したときの感想では、954人中楽しかった419人43.9パーセントでありました。最後に大正琴で演奏してみたい曲には「千の風になって」「翼をください」「校歌」でした。

次に、資料編2では、流会派の機関紙に紹介された記事や、メディアに紹介された新聞記事「学校教育と大正琴、子どもを対象としたコンクール状況、フェスティバルに関わる記事」を紹介して日頃の大正琴活動の一端がうかがえます。



会員たより

第23回国民文化祭・いばらき2008「大正琴の祭典」に参加して

「常世の国 筑波嶺 翔ける 文化のいぶき」をテーマとした、第23回国民文化祭が茨城県で開催されました。

いばらき2008「大正琴の祭典」は11月8・9日の二日間ひたちなか市文化会館で北海道から沖縄まで、全国から大正琴の愛好者の皆様に参加し、過去に例のない大演奏会となり、大正琴の美しい音色を会場いっぱい響かせ参加者に感動を与えました。

9日の国民文化祭の閉会式は、大正琴の他63の国民文化祭参加団体の代表者と、多くの参加者が出席され盛大な式典となりました。大会旗が次回開催の静岡県に引継ぎされました。

静岡県副知事は、今回以上に盛大に開催する事を約束いたしました。

国民文化祭「大正琴の祭典」には大正琴の愛好者も大勢参加し、大演奏会となりますように、ご祈念申し上げます。

琴伝流 石井 満里子



社団法人大正琴協会主要事業予定

☆全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

第21回合同演奏会

日 時 平成21年10月31日(土)

会 場 埼玉県さいたま市大宮ソニックシティ ソニックシティホール 大ホール

☆指導者研修会

平成20年度

日 程 平成21年3月4日(水)13時30分から

会 場 プリランテ武蔵野「サファイア」

さいたま市中央区新都心2-2

TEL 048-601-5555

平成21年度

日 程 平成22年3月を予定

会 場 香川県高松市を予定

☆通常総会

第33回通常総会

日 程 平成21年6月3日(水)13時から予定

会 場 名古屋ガーデンパレス

名古屋市中区錦3-11-13

TEL 052-957-1022

第34回通常総会

日 程 平成21年12月2日(水)13時から予定

会 場 メルパルク東京「瑞雲」

東京都港区芝公園2-5-20

TEL 03-3433-7212

☆平成21年度全国子ども大正琴コンクール(新設)

日 時 平成21年8月23日(日)

会 場 名古屋港文化小劇場

名古屋市港区港楽2-10-24

TEL 052-654-8214



編集後記

昨年は想像できない多くの事件が発生、また、経済面では、アメリカのサブプライムローンに端を発した金融恐怖、これら出来事は世界を瞬く間に駆け巡り、グローバル化で(全地球的に)瞬時に身近な出来事として、私たちに影響する今日であります。それは、ガソリンの値上げ、値下げであつたりすぐに生活面に影響する昨今であります。今年も、益々景気が後退すると予想されていますが、個々に明るい話題のある毎日を作り出す努力が必要ではないでしょうか。